

令和3年9月22日作成

書籍をご購入いただいたみなさまへ

大原出版株式会社

2021年対策 旅行業務取扱管理者試験  
標準テキスト 1. 観光地理<国内・海外> 改訂のお願い

平素よりご愛顧いただき誠にありがとうございます。

法改正の影響により、本書の記載内容に改訂が生じております。

ご購入いただいたみなさまには大変お手数をおかけいたしますが、下記該当書籍及び改訂箇所をご確認のうえ、ご使用いただきますようお願い申し上げます。

該当書籍

- ・2021年対策 旅行業務取扱管理者試験  
標準テキスト 1. 観光地理<国内・海外> 7版（令和2年12月22日発行）  
ISBN 978-4-86486-805-1

改訂内容

**【国内観光地理テキスト Category 8 日本の世界遺産 「奄美大島、徳之島、  
沖縄島北部及び西表島）」「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録】**

**<※「観光地理テキスト P2～15・18～19・111～119 北海道・青森県・岩手県・秋田県・  
鹿児島県・沖縄県・日本の世界遺産」は、以下の内容をあわせて学習ください。>（下線  
部分が改正点になります。日本の暫定リストから削除ください。）**

「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島（鹿児島県・沖縄県）」がユネスコの世界自然遺産に、「北海道・北東北の縄文遺跡群（北海道・青森県・岩手県・秋田県）」がユネスコの世界文化遺産に登録されました。

このたびの世界遺産に登録された「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」と「北海道・北東北の縄文遺跡群」を含め、日本の世界遺産は25件（文化遺産20件・自然遺産5件）となりました。

「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の構成資産は、『奄美群島国立公園』に属する鹿児島県の奄美大島と徳之島、『やんばる国立公園』に属する沖縄県の沖縄本島北部のやんばる（山原）、『西表石垣国立公園』に属する沖縄県の八重山諸島の西表島から構成されます。本資産は、資産が位置する列島の中部と南部の独特で豊かな生物多様性の生息域内保全において、極めて重要な自然の生息地（アマミノクロウサギ、ヤンバルクイナ、イリオモテヤマネコなど）を包含していることが評価されました。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産は、農耕以前における人類の生活の在り方を示す17の考古遺跡群で、北海道の大船遺跡、青森県の三内丸山遺跡や亀ヶ岡石器時代遺跡、岩手県の御所野遺跡、秋田県の大湯環状列石などが含まれております。

<b>24</b>	<b>★奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島</b> （鹿児島県・沖縄県） 奄美大島、徳之島、やんばる（沖縄本島北部）、西表島	<b>2021年</b>
<b>25</b>	<b>☆北海道・北東北の縄文遺跡群</b> （北海道・青森県・岩手県・秋田県） 大船遺跡、三内丸山遺跡、亀ヶ岡石器時代遺跡、御所野遺跡、 大湯環濠列石など	<b>2021年</b>

以上